



2024年度冬のボーナス満額を勝ち取ろう！ シリーズ②

満額回答せよ！ 年末手当第1回団交

本部は本日、2024年度年末手当第1回団体交渉を開催しました。今交渉では、労使双方の趣旨説明を行いました。組合からの趣旨説明（要旨）は、以下の通りです。

令和7年度第1四半期の決算は、純利益1,197億円（連結）、運輸収入は2018年度比で102%、収益に影響する日外客数は6月に314万人、前年同月比51.2%増となり、単月として過去最高を記録した。1月～7月の上半期累計は2,107万人となった。

この増益は現場の社員の計り知れない苦労によって実現できた。社員は地震や台風等の自然災害に対し大きな苦労を重ねながら、変わることなく業務を遂行し、安全・安定輸送を担ってきている。

会社は、協約改訂交渉時に「増収・増益の決算となっているものの、当社を取り巻く経済状況や景気動向を踏まえると楽観視できない状況」と挨拶した一方、「健全経営と安定配当」と、無駄な投資とも言えるリニア建設を進めている。

食料品や光熱費は軒並み値上がりし、ガソリン価格の高騰が持続され、家計を直撃している。

社員によってなし得た利益を、社員に還元することは当たり前のことである。年末手当を低額に抑制することは認められない。社員なくして会社の存在などあり得ない。人材を最大の経営資源と捉えているならば、組合員、社員への期待も含めて年末手当を支給するべきである。

以上のことから、申し入れの通り、満額回答をすること。